

つるみ在宅ケアネットワーク 第28回合同勉強会 報告書

日 時 令和7年6月14日(土) 14:00～15:40
場 所 鶴見区医師会 3F 会議室
開催方法 Zoom 研修

14:00～ 司会

鶴見区在宅医療連携拠点 担当理事 佐藤 忠昭



理事長挨拶

鶴見区医師会 理事長 宮下 裕子



基調講演

14:03～

テーマ:「地域 BCP の理解とそれぞれの役割」

地域 BCP のススメ

～スタッフ、利用者、そして住民のいのちと暮らしを守るために～

講師: 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 理事長・機構長

山岸 暁美 さん



1. B C Pとは？

- ・ B C P (Business Continuity Plan)
平時から戦略的に業務継続について準備をしておくこと
- ・ B C Pの効果
- ・ 想定されるリスク
自然災害（天災）、技術的リスク（事故）、人為的リスク（人災）
- ・ 災害対応マニュアルと B C Pの違い



2. ヘルスケア領域の B C Pについて

- ・ 機関型 B C P
自機関の B C P
- ・ 連携型 B C P
同業の支援派遣、患者・利用者の受け入れ等の相互支援、または、疾患別の診療科連携による B C P
- ・ 地域 B C P
地域全体の医療・ケア提供の継続と早期復旧を可能とすること、多くの住民の“いのち”と“健康”と“暮らし”を守ること

3. 多くの地域において地域 B C P、連携型 B C Pに係る課題として挙がるテーマ

- (1) 在宅人工呼吸器装着者、在宅酸素療法を受けている方の電源確保
一自治体の「在宅酸素等使用者マップ」の紹介
一自治体の取り組み
- (2) 情報の共有・発信
患者・利用者の安否確認に関する課題
安否確認の優先度付け・内容・共有
- (3) 個別避難支援計画への専門職としてのコミットメント及び住民との協働
個別避難計画の策定状況について
「個別避難計画書」の紹介
- (4) 地域健康危機において指揮を執る機関との平時からの連携や協働
- (5) 各職能団体や各機関の役割分担と協働の在り方・支援協定
エスカレーション・ロジックモデルについて
通常業務の洗い出し、業務の優先順位付け
訪問看護ステーションの連携型 B C Pの例

- (6) 有事の際のヘルスケア専門職の再配置
- (7) 救護所対応含めた医師会員としての業務と自院の運営との両立
一自治体の取り組み
- (8) 在宅避難者・車中避難者への支援
- (9) 在宅療養支援機能

4. ヘルスケア提供機関BCPのまとめ

- ・機関型BCPの策定を行う
- ・連携型BCPの策定を通じて、地域の機関間でその機能を補完できるようにする
- ・地域BCPは有事において、重要なツールであり、地域の総力戦を可能にする

15：20～15：35

意見交換・質疑応答

【基調講演に対して】

- (Q1) クリニックで、1人1人個別避難計画を作ろうと考えた時に、地域やご家族への話しかけで話が止まってしまう。個別ケースをどう対応したらよいのか？
- (A1) 全員を対応するのは難しい。誕生日月に見直していくと作業がばらけるのでよい。できる形でできることから行い、次の誕生日月までに課題と方向性を共有して、一歩ずつ進んでいけばいいと思う。
- (Q2) 患者をどのように優先度付けするのか？ みんな助けたいという思いもあり、良い順番や方向性がありますか？
- (A2) 有事の時は、全員助けに行けない。自分達でどこまでどうできるか？を考え、行政などと連携を取って、自分達で助けに行かない方向性に考えていくことも必要だと思う。
- (Q3) 各事業所で、ITCを使って情報を集約するのは難しい。限られた資源の中で、安否確認の効率化や情報収集をどのようにしたらよいのか？
- (A3) ITCツールが異なる中で、医療機関が8～9割補足できていないと、うまく機能しないと言われている。ツールを使う人を増やす、ツールの統一をどうやって進めていくかを、行政も関与しながらみんなで進めていく事が大事だと思う。
- (Q4) 連携型BCPの取り組みとして、代行訪問をする場合、指示書をそのまま使用してよいのか？ それとも、主治医に代行訪問する事務所宛に指示書を発行してもらうべきか？

(A4) 意見書・指示書・ケアプランなど、行政としてどこまで緩和できるのか？ 現場から提案して、どうしたら現場が回りやすいか？を発信していく事が大事だと思う。是非、鶴見区にモデル事業に手上げしてもらい、一緒に協力できたらと思う。

他 意見、感想2件あり

15:35～ 閉会挨拶

鶴見区在宅医療連携拠点 担当医師 佐藤 忠昭

15:40 終了



参加者総数：76名

医師：6名 薬剤師：8名 看護師：37名

ケアマネジャー：12名 理学療法士：1名

社会福祉士：1名 行政：2名 介護士：1名

精神保健福祉士：1名 事務：7名